



JASDAQ

平成 27 年 3 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社 山大  
代表者名 代表取締役社長 石川 寛猛  
(コード番号：7426 東証 JASDAQ)  
問合せ先 常務取締役管理部部長 木村 昭俊  
(TEL 0225-93-1111)

(訂正)「平成 25 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の  
一部訂正について

当社は、平成 27 年 3 月 11 日付「当年度および過年度に係る決算短信等および有価証券報告書等の一部訂正に関するお知らせ」にて開示しましたとおり、当年度および過年度に係る決算短信等の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 24 年 11 月 12 日付「平成 25 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には\_\_を付して表示しております。

以 上

(訂正後)

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場会社名 株式会社 山大

上場取引所 東

コード番号 7426

URL <http://www.yamadai.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋貞夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部部長 (氏名) 木村昭俊 TEL(0225)93-1111

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,364	112.5	356	267.8	370	211.1	329	126.3
24年3月期第2四半期	1,582	△27.1	96	128.2	119	146.2	145	509.0

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 328百万円(116.8%) 24年3月期第2四半期 151百万円(571.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	59.14	-
24年3月期第2四半期	26.13	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	5,413	2,089	38.6
24年3月期	5,180	1,799	34.7

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 2,089百万円 24年3月期 1,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	0.00	-	7.00	7.00
25年3月期	-	0.00	-	-	-
25年3月期(予想)	-	-	-	5.50	5.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	6,126	42.5	564	105.0	575	92.9	532	△19.2	95.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名） 、 除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
（注）詳細は、添付資料P. 3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	5,936,840株	24年3月期	5,936,840株
25年3月期2Q	372,893株	24年3月期	372,893株
25年3月期2Q	5,563,947株	24年3月期2Q	5,564,962株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興需要等により穏やかな回復の兆しが見られるものの、欧州債権問題、円高の長期化等により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

住宅建築業界におきましては、住宅支援政策の効果等により、回復傾向にあるものの、所得・雇用等に対する先行き不安があり、依然として厳しい状況にあります。

このような状況のもとで、当社グループは、木材利用促進法による大型木造物件等の増加需要と震災復興需要を背景に、東日本大震災による地域社会の復旧・復興の需要に対応できる、宮城の伊達な杉（当社ウッド・ミル製材工場生産される国産人工乾燥杉製材品）、構造プレカット・羽柄プレカット・合板プレカット（東日本大震災復興による職人不足に伴う賃金高騰問題を解決できるプレカット）等を営業戦略の柱とし、国内住宅市場の環境変化等を見据えながら、東日本大震災からの復旧・復興に貢献することが社会的使命と考え努力してまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、東日本大震災の復興需要の増加等により、3,364百万円（前年同四半期比112.5%増）を計上いたしました。営業利益、経常利益及び四半期純利益は、東日本大震災復旧・復興関連の完成工事高の増加等により、営業利益356百万円（前年同四半期比267.8%増）、経常利益370百万円（前年同四半期比211.1%増）、四半期純利益329百万円（前年同四半期比126.3%増）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

ア. 住宅資材事業

東日本大震災の復興需要の増加等により、売上高2,801百万円（前年同四半期比117.4%増）、営業利益321百万円（前年同四半期比219.8%増）となりました。ただし、前年同四半期は、東日本大震災の被災により当社の工場がフル操業できる体制が整ったのが平成23年10月であったため、製品売上高についてはその影響がありました。

イ. ホーム事業

東日本大震災の復興関連の完成工事高の増加等により、売上高541百万円（前年同四半期比96.5%増）、営業利益96百万円（前年同四半期比114.2%増）となりました。

ウ. 賃貸事業

賃貸収入は、売上高21百万円（前年同四半期比13.8%増）、営業利益14百万円（前年同四半期比42.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は、流動資産の増加などにより5,413百万円と前連結会計年度末比233百万円の増となりました。

また、負債につきましては、固定負債の減少などにより3,324百万円と前連結会計年度末比56百万円の減となりました。

純資産は、利益剰余金の増加などにより2,089百万円と前連結会計年度末比289百万円の増となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の日本経済の見通しにつきましては、欧州債権問題等による世界的な景気の停滞、円高の長期化等により先行き不透明感が続くものと思われま

す。このような状況のもと当社グループは、木材利用促進法による大型木造物件等の増加需要と震災復興需要を背景に、東日本大震災による地域社会の復旧・復興の需要に対応できる、宮城の伊達な杉（当社ウッド・ミル製材工場で生産される国産人工乾燥杉製材品）、構造プレカット・羽柄プレカット・サイディングプレカット（平成24年11月稼動予定）・合板プレカット（東日本大震災復興による職人不足に伴う賃金高騰問題を解決できるプレカット4点セット）等が地域社会の復旧・復興に大きく貢献すると予想される結果、平成24年8月3日に公表いたしました通期の連結業績予想については変更いたしません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産は実地棚卸を行わず、帳簿棚卸により算定しております。

② 定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社は法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間により、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、損益に与える影響額は軽微であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	187,761	161,886
受取手形及び売掛金	1,246,109	1,576,150
完成工事未収入金	22,844	13,271
商品及び製品	252,541	227,884
仕掛品	90,156	105,618
原材料及び貯蔵品	36,403	69,309
販売用土地建物	83,422	84,379
未成工事支出金	82,705	129,333
その他	76,112	48,027
貸倒引当金	△ 14,213	△ 13,843
流動資産合計	2,063,843	2,402,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	628,529	606,550
機械装置及び運搬具(純額)	416,627	360,639
土地	1,530,583	1,488,717
その他(純額)	292,083	315,336
有形固定資産合計	2,867,823	2,771,243
無形固定資産	20,235	17,435
投資その他の資産		
その他	258,126	251,625
貸倒引当金	△ 29,902	△ 28,920
投資その他の資産合計	228,223	222,704
固定資産合計	3,116,283	3,011,383
資産合計	5,180,127	5,413,401

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,017,152	1,145,580
工事未払金	57,710	51,556
短期借入金	790,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	164,218	180,104
未払法人税等	<u>7,016</u>	<u>54,435</u>
賞与引当金	7,500	14,000
完成工事補償引当金	1,700	2,433
その他	<u>387,614</u>	<u>281,758</u>
流動負債合計	<u>2,432,911</u>	<u>2,479,868</u>
固定負債		
長期借入金	667,782	577,746
退職給付引当金	112,349	104,053
その他	167,450	162,363
固定負債合計	<u>947,581</u>	<u>844,163</u>
負債合計	<u>3,380,492</u>	<u>3,324,031</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,103,184	1,103,184
資本剰余金	97,927	97,927
利益剰余金	677,207	<u>967,327</u>
自己株式	$\Delta$ 50,069	$\Delta$ 50,069
株主資本合計	<u>1,828,249</u>	<u>2,118,369</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	$\Delta$ 249	$\Delta$ 633
土地再評価差額金	$\Delta$ 28,365	$\Delta$ 28,365
その他の包括利益累計額合計	<u><math>\Delta</math> 28,615</u>	<u><math>\Delta</math> 28,999</u>
純資産合計	<u>1,799,634</u>	<u>2,089,370</u>
負債純資産合計	<u>5,180,127</u>	<u>5,413,401</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	1,582,919	3,364,404
売上原価	1,267,021	2,740,432
売上総利益	315,898	623,972
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	7,384	1,914
給与手当	67,169	71,991
賞与引当金繰入額	3,407	8,155
退職給付費用	8,940	4,265
その他	132,105	181,248
販売費及び一般管理費合計	219,007	267,575
営業利益	96,890	356,396
営業外収益		
受取利息	1,351	1,362
受取配当金	1,232	1,281
仕入割引	6,123	8,682
受取助成金	12,938	9,612
雑収入	11,745	5,956
営業外収益合計	33,392	26,894
営業外費用		
支払利息	7,741	8,400
売上割引	1,628	3,019
出資分配損	1,504	143
雑損失	155	772
営業外費用合計	11,031	12,336
経常利益	119,251	370,955
特別利益		
受取助成金	84,836	3,320
災害見舞金	14,269	-
特別利益合計	99,105	3,320
特別損失		
災害による損失	63,232	-
投資有価証券評価損	8,141	-
特別損失合計	71,373	-
税金等調整前四半期純利益	146,983	374,275
法人税、住民税及び事業税	1,550	45,207
法人税等合計	1,550	45,207
少数株主損益調整前四半期純利益	145,433	329,067
四半期純利益	145,433	329,067

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	145,433	329,067
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,203	△ 384
その他の包括利益合計	6,203	△ 384
四半期包括利益	151,636	328,683
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	151,636	328,683

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(訂正前)

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場会社名 株式会社 山大

上場取引所 大

コード番号 7426

URL <http://www.yamadai.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋貞夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部部長 (氏名) 木村昭俊 TEL(0225)93-1111

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,364	112.5	356	267.8	370	211.1	347	138.8
24年3月期第2四半期	1,582	△27.1	96	128.2	119	146.2	145	509.0

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 346百万円(128.8%) 24年3月期第2四半期 151百万円(571.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	62.42	-
24年3月期第2四半期	26.13	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	5,413	2,107	38.9
24年3月期	5,180	1,799	34.7

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 2,107百万円 24年3月期 1,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	0.00	-	7.00	7.00
25年3月期	-	0.00	-	-	-
25年3月期(予想)	-	-	-	5.50	5.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	6,126	42.5	564	105.0	575	92.9	532	△19.2	95.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名） 、 除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
（注）詳細は、添付資料P. 3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	5,936,840株	24年3月期	5,936,840株
25年3月期2Q	372,893株	24年3月期	372,893株
25年3月期2Q	5,563,947株	24年3月期2Q	5,564,962株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興需要等により穏やかな回復の兆しが見られるものの、欧州債権問題、円高の長期化等により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

住宅建築業界におきましては、住宅支援政策の効果等により、回復傾向にあるものの、所得・雇用等に対する先行き不安があり、依然として厳しい状況にあります。

このような状況のもとで、当社グループは、木材利用促進法による大型木造物件等の増加需要と震災復興需要を背景に、東日本大震災による地域社会の復旧・復興の需要に対応できる、宮城の伊達な杉（当社ウッド・ミル製材工場生産される国産人工乾燥杉製材品）、構造プレカット・羽柄プレカット・合板プレカット（東日本大震災復興による職人不足に伴う賃金高騰問題を解決できるプレカット）等を営業戦略の柱とし、国内住宅市場の環境変化等を見据えながら、東日本大震災からの復旧・復興に貢献することが社会的使命と考え努力してまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、東日本大震災の復興需要の増加等により、3,364百万円（前年同四半期比112.5%増）を計上いたしました。営業利益、経常利益及び四半期純利益は、東日本大震災復旧・復興関連の完成工事高の増加等により、営業利益356百万円（前年同四半期比267.8%増）、経常利益370百万円（前年同四半期比211.1%増）、四半期純利益347百万円（前年同四半期比138.8%増）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

ア. 住宅資材事業

東日本大震災の復興需要の増加等により、売上高2,801百万円（前年同四半期比117.4%増）、営業利益321百万円（前年同四半期比219.8%増）となりました。ただし、前年同四半期は、東日本大震災の被災により当社の工場がフル操業できる体制が整ったのが平成23年10月であったため、製品売上高についてはその影響がありました。

イ. ホーム事業

東日本大震災の復興関連の完成工事高の増加等により、売上高541百万円（前年同四半期比96.5%増）、営業利益96百万円（前年同四半期比114.2%増）となりました。

ウ. 賃貸事業

賃貸収入は、売上高21百万円（前年同四半期比13.8%増）、営業利益14百万円（前年同四半期比42.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は、流動資産の増加などにより5,413百万円と前連結会計年度末比233百万円の増となりました。

また、負債につきましては、固定負債の減少などにより3,305百万円と前連結会計年度末比74百万円の減となりました。

純資産は、利益剰余金の増加などにより2,107百万円と前連結会計年度末比307百万円の増となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の日本経済の見通しにつきましては、欧州債権問題等による世界的な景気の停滞、円高の長期化等により先行き不透明感が続くものと思われま

す。このような状況のもと当社グループは、木材利用促進法による大型木造物件等の増加需要と震災復興需要を背景に、東日本大震災による地域社会の復旧・復興の需要に対応できる、宮城の伊達な杉（当社ウッド・ミル製材工場で生産される国産人工乾燥杉製材品）、構造プレカット・羽柄プレカット・サイディングプレカット（平成24年11月稼動予定）・合板プレカット（東日本大震災復興による職人不足に伴う賃金高騰問題を解決できるプレカット4点セット）等が地域社会の復旧・復興に大きく貢献すると予想される結果、平成24年8月3日に公表いたしました通期の連結業績予想については変更いたしません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産は実地棚卸を行わず、帳簿棚卸により算定しております。

② 定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社は法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間により、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、損益に与える影響額は軽微であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	187,761	161,886
受取手形及び売掛金	1,246,109	1,576,150
完成工事未収入金	22,844	13,271
商品及び製品	252,541	227,884
仕掛品	90,156	105,618
原材料及び貯蔵品	36,403	69,309
販売用土地建物	83,422	84,379
未成工事支出金	82,705	129,333
その他	76,112	48,027
貸倒引当金	△ 14,213	△ 13,843
流動資産合計	2,063,843	2,402,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	628,529	606,550
機械装置及び運搬具(純額)	416,627	360,639
土地	1,530,583	1,488,717
その他(純額)	292,083	315,336
有形固定資産合計	2,867,823	2,771,243
無形固定資産	20,235	17,435
投資その他の資産		
その他	258,126	251,625
貸倒引当金	△ 29,902	△ 28,920
投資その他の資産合計	228,223	222,704
固定資産合計	3,116,283	3,011,383
資産合計	5,180,127	5,413,401

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,017,152	1,145,580
工事未払金	57,710	51,556
短期借入金	790,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	164,218	180,104
賞与引当金	7,500	14,000
完成工事補償引当金	1,700	2,433
その他	<u>394,630</u>	<u>317,936</u>
流動負債合計	<u>2,432,911</u>	<u>2,461,610</u>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	667,782	577,746
退職給付引当金	112,349	104,053
その他	167,450	162,363
固定負債合計	<u>947,581</u>	<u>844,163</u>
負債合計	<u>3,380,492</u>	<u>3,305,774</u>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,103,184	1,103,184
資本剰余金	97,927	97,927
利益剰余金	677,207	<u>985,585</u>
自己株式	△ 50,069	△ 50,069
株主資本合計	<u>1,828,249</u>	<u>2,136,627</u>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	△ 249	△ 633
土地再評価差額金	△ 28,365	△ 28,365
その他の包括利益累計額合計	<u>△ 28,615</u>	<u>△ 28,999</u>
純資産合計	<u>1,799,634</u>	<u>2,107,627</u>
負債純資産合計	<u>5,180,127</u>	<u>5,413,401</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	1,582,919	3,364,404
売上原価	1,267,021	2,740,432
売上総利益	315,898	623,972
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	7,384	1,914
給与手当	67,169	71,991
賞与引当金繰入額	3,407	8,155
退職給付費用	8,940	4,265
その他	132,105	181,248
販売費及び一般管理費合計	219,007	267,575
営業利益	96,890	356,396
営業外収益		
受取利息	1,351	1,362
受取配当金	1,232	1,281
仕入割引	6,123	8,682
受取助成金	12,938	9,612
雑収入	11,745	5,956
営業外収益合計	33,392	26,894
営業外費用		
支払利息	7,741	8,400
売上割引	1,628	3,019
出資分配損	1,504	143
雑損失	155	772
営業外費用合計	11,031	12,336
経常利益	119,251	370,955
特別利益		
受取助成金	84,836	3,320
災害見舞金	14,269	-
特別利益合計	99,105	3,320
特別損失		
災害による損失	63,232	-
投資有価証券評価損	8,141	-
特別損失合計	71,373	-
税金等調整前四半期純利益	146,983	374,275
法人税、住民税及び事業税	1,550	26,950
法人税等合計	1,550	26,950
少数株主損益調整前四半期純利益	145,433	347,325
四半期純利益	145,433	347,325

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	145,433	347,325
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,203	△ 384
その他の包括利益合計	6,203	△ 384
四半期包括利益	151,636	346,941
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	151,636	346,941

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
  
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。